

R2 年度アーツ前橋の事業変更案について

* 「臨時休館中の対応」(別紙) 以外

1) 展覧会事業

「Art Meets 07」: 翌年度へ延期。

「群馬の手仕事」: 中止。数名の作家へ新作制作委託と作家のアトリエ映像アーカイブ事業へ振り替え。

「場所の記憶 (収蔵作品)」: 下記「聴く」展と一体化

「聴く: 共鳴する世界」: (7 月中決定) オンライン開催か、数名の作家への新作制作委託へ振り替え。

「南城一夫」展: 年間の会期調整により中止。

2) 表現の森プロジェクト

・高齢者施設での活動: ワークショップは中止、オンラインを使用したおしゃべりアーツツアーを検討中。

・若者のためのフリースペース: 「ゆったりアーツ」は継続。オンラインでの作家と若者との文通やオンラインでのトークなどを検討中。

・母子生活支援施設: お手紙とワークショップキットを配布する形で 3 回/年のワークショップを開催。

・団地: これまでワークショップにコアにかかわっている中学生との手紙を通じた交流。

3) アーティストインスクール (AIS)

アーティスト派遣は中止。オンラインで教育現場の人たちの考えを聞く会を開催。また、教育現場と協働して教師、保護者、子どもにむけた動画制作にプログラムを切り替える。

4) サポーター向け事業

おしゃべりアーツツアー: 中止、研修のみオンラインで実施

あ一つひろばは中止、ほかサポーター活動は少人数で再開 (6 月 30 日~)

5) 滞在制作事業

韓国台湾との交換レジデンス: (7 月中決定)、過去滞在作家のアイデアを実現する制作委託へ振り替え。

群馬県ゆかり作家: 地元作家へのスタジオ提供へ変更

6) 多文化共生プロジェクト

外国籍在住者の交流を促す事業と、H30 滞在制作作家スン・テウの作品制作

7) 「アーツ助成」

「緊急活動奨励」事業として、イベントではなく活動の持続を支援する助成に変更。

8) ロビーライブ: 中止

A. 企画展を減らし収蔵作品の調査と展示を増やす。B. 学校や福祉施設に非接触型の事業を提案

C. アーティスト向け公募型支援を実施